

## 新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（神戸市立工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
<p>（2020年度教育課程の担保）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を受けて、4月を臨時休講とし5/7(木)から遠隔授業として授業を開始した。その後、7/3(金)までを遠隔授業で実施し、7/7(火)以降は対面授業として8/7(金)まで授業を実施した。その後、4月臨時休講分の授業時間を確保するために、夏季休業期間を短縮し8/27(金)から前期授業を再開し、補講期間(1週間)を挟んで前期定期試験を実施した。なお、前期定期試験前の補講期間は、学習の質を保证するために遠隔授業では十分なサポートが行えなかった講義を実施することを目的として配置し、実験等の科目を中心に補講が行われた。後期授業は、校内の感染対策を講じた上で、対面授業で授業を実施した。</p>	<p><a href="#">C-1-01 「2020年度 本科年間行事予定表」</a></p>
<p>（2021年度教育課程の担保）</p> <p>感染症の拡大状況や緊急事態宣言の発出を受けて、4月下旬より、以下のように遠隔での実施が難しい実験系以外の科目を中心に、段階的に遠隔授業を実施した。なお、低学年、特に入学間もない1年生は可能な限り対面で授業を実施し、学生の学習の質を保证するように配慮した。</p> <p>[4/22(木)～4/30(金)] 1～3年は通常授業, 4～5年・専攻科のみ対面授業(週2日)+遠隔授業(週3日)で実施</p> <p>[5/6(木)～5/11(火)] 1年のみ通常授業, 2～5年・専攻科は対面授業(週2日)+遠隔授業(週3日)で実施</p> <p>[5/12(水)～6/1(火)] 全学年・全専攻:対面授業(週2日)+遠隔授業(週3日)</p> <p>また、6/2(水)以降の前期授業は全て対面授業で実施した。後期授業については、感染症の状況に配慮しながら、対面授業を継続することとしている。</p>	<p><a href="#">C-1-02 「2021年度 本科年間行事予定表」</a></p>
<p>（遠隔授業実施に係る教員への取組）</p> <p>(1) 2020年5月7日から遠隔授業を実施するにあたり、遠隔授業に関する教員や学生のサポートをする臨時組織として遠隔授業支援センターを設置した。同センターでは教員に対して、遠隔授業のプラットフォームであるGoogle Classroomの作成方法および使用方法、動画配信方法、デモ講義等を行い、遠隔授業実施に向けたサポートを行った。</p> <p>(2) 遠隔授業を初めて経験する教員や学生が多いことから、2020/5/7(月)～6/3(水)は遠隔授業試行期間として、教員の遠隔授業の実施方法の検討、問題点の抽出や解決方法の検討、学生の受講状況等の把握を行うことを目的とすることを教職員に周知し、教員や学生に過度な負担をかけないように留意した。2020/6/4以降の遠隔授業では、学習の質の向上を目的として文部科学省からの遠隔授業の取扱いに関する通知に留意しながら授業を実施するように教員に周知し、段階的に授業内容の質を高めるように取り組んだ。</p>	<p><a href="#">(1)C-1-03 「4-28臨時教職員会議議事録(遠隔授業支援センター設置)」</a></p> <p><a href="#">C-1-04 「遠隔授業の進め方について(2020年4月30日付けメール)」</a></p> <p><a href="#">(2)C-1-05 「試行期間中の授業について(2020年4月28日付けメール)」</a></p> <p><a href="#">C-1-06 「6月4日以降の遠隔授業で留意する点(2020年5月29日付けメール)」</a></p>

<p>(遠隔授業実施に係る学生への取組)</p> <p>(1) 学生および保護者に、2020年5月7日から遠隔授業を実施する通知および、自宅で遠隔授業を受けるための情報端末や通信環境の準備を書面でお願いした。</p> <p>(2) 遠隔授業支援センターより、遠隔授業実施に向けてGoogle Classroomに作成したHRのクラスに参加し、担任や学校からの連絡が確認できるように書面で通知した。</p> <p>(3) 外部からアクセス可能な本校専用のWebサイトに遠隔授業支援センターのホームページを作成し、遠隔授業のプラットフォームであるGoogle Classroomの使用方法や受講方法や注意点、問題発生時の解決方法のアドバイスなどを掲載し、遠隔授業を始めて受講する学生のサポートを行った。</p>	<p><a href="#">(1)C-1-07 「臨時休業の延長および休業期間中の学修について(2020年5月1日付け書面)」</a></p> <p><a href="#">(2)C-1-08 「臨時休業中の遠隔授業の実施について(2020年5月1日付け書面)」</a></p> <p><a href="#">(3)C-1-09 「遠隔授業支援センターウェブサイト(現総合情報センターオンライン支援部門)」</a></p>
<p>(遠隔授業の質の保証に係る取組)</p> <p>(1) 2020年度は前期中間試験期間が遠隔授業となったため試験日程や実施方法の変更が行われた。そのため、年度当初のシラバスに記載の成績評価方法と異なる科目についてはシラバスを修正しその内容を学生に周知するように教員に連絡した。</p> <p>(2) 2020年度は、遠隔授業期間中の授業について、授業実施回数や学習の質を担保していることを保証することを目的として、授業担当教員に授業実施報告書(実施日、授業形態、実施方法、学生との質疑・意見交換等の方法を記載)の提出を義務付けた。提出された報告書は、教務主事が確認し、遠隔授業の実施状況を学校として把握する取組を行った。2021年度は、遠隔授業実施字に、授業担当教員が、学生の授業受講状況を適格に把握し、より学生の学習の質を高めるために、授業実施報告書に学生の授業受講状況の確認方法の項目を追加した。</p>	<p>(1) 資料なし</p> <p><a href="#">(2)C-1-10 「2020年度授業実施報告書(テンプレート)」</a></p> <p><a href="#">C-1-11 「2021年度遠隔授業実施報告書(テンプレート)」</a></p>
<p>(対面授業実施に対する取組)</p> <p>(1) 2020年7月より対面授業を再開するにあたり、各教室へのアルコール消毒液の配置、特別教室の利用人数の制限、ホール等の授業利用、フェースシールドの配付、共用設備の定期的消毒、手洗い用水栓の増設など、学生が少しでも安心して対面授業を受講できるように感染対策を講じた。</p> <p>(2) 学生の研究活動の質を保証するために、2020年6月に「神戸高専の実験施設・備利用に関するガイドラン」を策定し、感染拡大防止に最大限配慮しつつ休日や時間外の研究活動を開始した。</p> <p>(3) 2021年4月実施の教職員会議で、「令和3年度の新型コロナウイルス感染症に係る対応について」を配付、教職員へ学校の方針を周知するとともに、学生の学校生活の質を維持するために教職員が協力して対応することを確認した。</p>	<p><a href="#">(1)C-1-12 「授業再開後の学校生活について(2020年6月臨時教職員会議配付資料)」</a></p> <p><a href="#">(2)C-1-13 「神戸高専の実験施設・設備の利用に関するガイドラインについて(2020年6月臨時教職員会議配付資料)」</a></p> <p><a href="#">(3)C-1-14 「令和3年度の新型コロナウイルス感染症に係る対応について(2021年4月教職員会議配付資料)」</a></p>

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
2020年5月の遠隔授業実施に伴い、全学生に対して情報機器や通信環境の調査を行い、情報端末を保有していない学生に対してPCの貸出を行い、全学生の遠隔授業受講環境を用意した。	<a href="#">C-2-01 「自宅でのネットワーク環境の調査テンプレート(2020年4月実施)」</a>
遠隔授業を実施している期間も、家庭環境により自宅で学習できない学生のために校内にて受講できるようにした。	資料なし
授業担当者は学生の遠隔授業の受講状況を把握し、気になる学生がいた場合（出席できない、授業についてこられない、レポート提出が遅れているなど）はスプレッドシートに記入し、教員に共有する取組を行った。担任は、遠隔授業期間中に定期的に学生の状況確認を実施し、遠隔授業への対応ができていない学生等に対して、個別指導を行った。	<a href="#">C-2-02 「遠隔授業に全く反応しない学生のピックアップ依頼メール(2020年6月実施)」</a>
神戸高专の「学生の新しい生活様式（感染予防の6か条）」を策定するとともにHR教室や本校ウェブページに掲載し、登校前には毎朝体温測定や手洗い・消毒の励行などコロナ禍での生活様式について学生への周知および指導を行った。また、2021年度からは新型コロナワクチン接種に係る欠席等の取扱いについて本校Webページに掲載し学生に周知した。	<a href="#">C-2-03 「学生の新しい生活様式(HR教室掲示用)(2020年7月作成)」</a>
	<a href="#">C-2-04 「学校生活の注意事項の案内(外部webページ)」</a>
	<a href="#">C-2-05 「ワクチン接種についての案内(外部Webページ)」</a>
悩みごとや困りごとについて相談を受け付ける体制（学生相談室）があることを、再度周知を行った。	<a href="#">C-2-06 「学生相談室からのお知らせ(2020年6月)」</a>
家計急変への支援として保護者に対して本校ウェブページを通じて支援制度の案内を行った。	<a href="#">C-2-07 「新型コロナウイルス感染拡大による家計急変への支援について(2020年5月)」</a>
3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
本校は学生寮を設置していません。	

4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
神戸市教育委員会の課外活動に関する指針に従い、2020年6月に「神戸高専の課外活動再開に関するガイドライン」を策定し、教員にそれに準じて課題活動の学生指導をお願いした。それ以降、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、神戸市教育委員会の指針が変更される度に本校のガイドラインを見直し、それを本校Webページに掲載し、教職員および学生に周知している。	<a href="#">C-4-01 「神戸高専の課外活動再開に関するガイドライン(2020年6月作成)」</a> <a href="#">C-4-02 「課外活動について(令和3年10月1日以降)(外部Webページ掲載)」</a>
新入生に対する課外活動紹介の機会が設けられなかったため、課外活動団体が活動紹介動画を作成し、新入生に向けて紹介する機会を設けた。	資料なし
課外活動団体に対して、手指消毒用アルコールを配布し積極的に活用するよう指導した。	資料なし
5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。	
回答欄	根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）
2020年4月に遠隔授業支援センターを臨時的に設立し、希望する教員に対して遠隔授業（ライブ配信型・オンデマンド型）実施方法についての講習会などの支援を行った。	<a href="#">C-5-01 「遠隔授業に関する教員向け講習会の案内メール(2020年6月1日)」</a>
2020年6,7月に、遠隔授業改善の成果の共有、参観教員の授業改善、公開教員の授業改善を目的として、他の教員の遠隔授業に自由に参加できる教員間の授業公開期間を設定し、各教員の遠隔授業の質の向上をめざした取組を行った。	<a href="#">C-5-02 「2020年度6-7月FD教員間授業(遠隔)参観シート」</a> <a href="#">C-5-03 「2020年度6-7月FD教員間授業(遠隔)報告」</a>
2020年9月に実施した学生の遠隔授業に関する授業アンケート調査を行った結果、本科の平均値は、5段階評価で、学生の遠隔授業の取組:3.85, 遠隔授業の満足度:3.82であった。また、専攻科の平均値は、5段階評価で、学生の遠隔授業の取組:4.42, 遠隔授業の満足度:4.35と高い評価であった。このことから、2020年度の学生や教員の遠隔授業への対応は概ね良好であったといえる。	<a href="#">C-5-04 「2020年度前期 遠隔授業に係る学生の授業アンケート集計結果」</a>
前期終了時に実施している学生の授業アンケート評価の過去5年間の結果を比較すると、遠隔授業を実施した2020年度の評価は、対面授業で実施した2019年度と本科はほぼ同じ評価、専攻科はやや高い評価であった。さらに、2021年度の評価を見ると、本科、専攻科ともに2020年度よりもすべての項目において高い評価となっている。このことから、遠隔授業実施2年目となる2021年度は、各教員の遠隔授業の実施方法の工夫等が少なからず行われた成果ではないかと推測される。	<a href="#">C-5-05 「過去5年間の学生授業アンケート結果(前期平均値)の比較」</a>